

キレイに、未来へ



**TOYOKOH**

2026年3月期2Q決算説明資料

株式会社トヨコー 2025年11月13日

～はじめに～

## 2026年3月期1Q決算説明資料（2025/8/8開示）から更新が入っているページ

当社IR資料を継続してモニタリング頂いている投資家の皆様へ、以下ページが前回から更新が入っておりますのでお知らせします。取り急ぎ、以下ページをご確認頂きますと前回からの差分をキャッチアップ頂けます。

ページ	項目	変更内容
P.5	会社概要	役員・従業員数、事業別売上高の推移、SOSEIの累計施工面積の情報を2025年9月末時点のものに更新。
P.17	知的財産権の状況	右下の知財件数の表を前回2025年7月末時点→今回2025年10月末時点に更新。
P.27	売上高の推移、営業利益と研究開発費の推移	グラフに2026年3月期2Qの数値を追加。
P.28	事業別・年度別受注残高の推移	2026/3期2Q末時点の事業別の受注残高を追加。
P.29	財務諸表分析	2026/3期2Qの主要な損益計算書項目を表示し、前年同期と比較。
P.30	重点取組分野ごとの主な取組と今後の見通し	2026/3期上期における分野ごとの主な取組と、これらの先に見据える今後の事業方向性・見通しを記載。
P.31	国際装備展示会の防衛装備庁ブースでのCoolLaser出展	2025/10/7リリースの、国際装備展示会「DSEI UK 2025」及び「INDO PACIFIC 2025」防衛装備庁ブースでのCoolLaser出展について
P.32	令和7年度産業標準化事業表彰を受賞	2025/10/20リリースの、令和7年度産業標準化事業表彰（イノベーション・環境局長表彰）受賞について記載。
P.33	CoolLaser新工場の稼働開始と足元の見通し	CoolLaserの新工場は予定通り稼働開始しており、月産2台体制が構築。今後、最大月産製造台数の実現に向け、部材サプライヤーの生産キャパシティの拡大など生産体制を確立していく。
P.34	2028/3期までの見通しや主な取り組み	両事業の2028/3期に向けた主な取り組みを記載。
P.36	レーザー施工研究会	最新の情報に更新（拠点、会員数）

# 目次

1：会社概要

2：事業の概要・成長戦略（SOSEI）

3：事業の概要・成長戦略（CoolLaser）

4：2026/3期2Q決算概況

5：APPENDIX

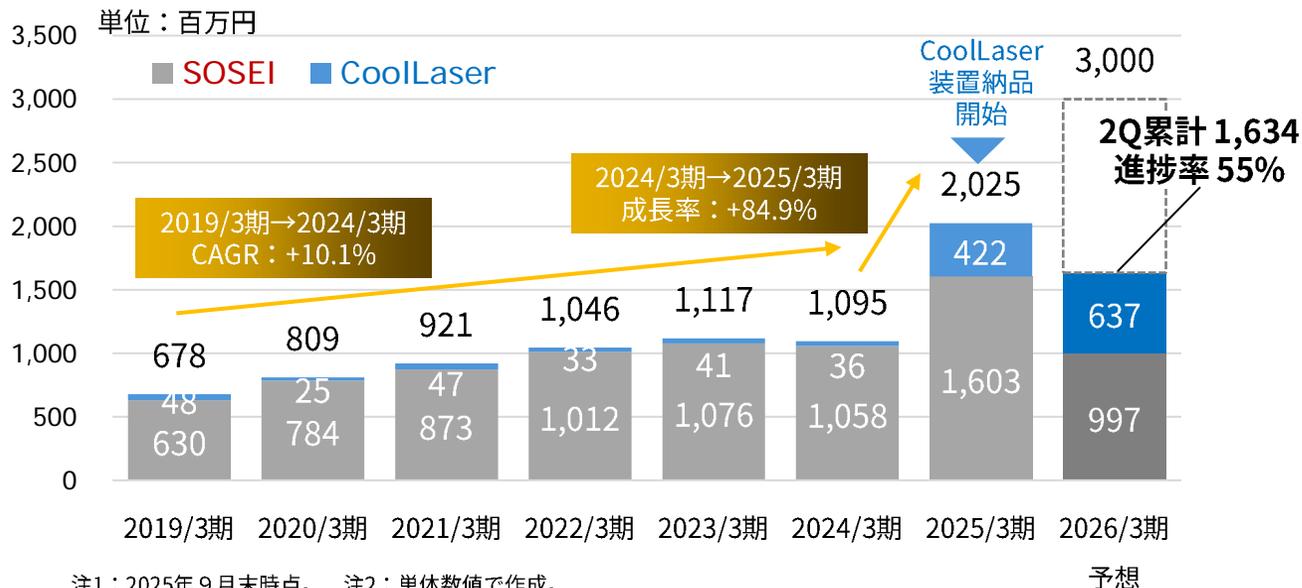
# 1：会社概要



# トヨコーのテクノロジーで環境に優しい インフラメンテナンスの未来を創造します。

代表取締役	豊澤 一晃
設立	1996年3月（2018年に初めて外部資本調達）
累計資本調達額	約34億円 <sup>注1</sup> （借入による調達額は除く）
役員・従業員	54名 <sup>注1</sup>
主要拠点	本 社：静岡県富士市青島町39 研究所：浜松研究所(浜松市)・・・CoolLaser開発拠点 SOSEI BASE(富士市)・・・SOSEI開発拠点 営業所：東京オフィス(港区)、九州営業所(福岡市)

## 事業別売上高の推移<sup>注2</sup>



## ミッション キレイに、未来へ

### SOSEI (ソセイ)

- 3層の特殊な樹脂をスプレーコーティングして強靱な屋根に蘇らせる「SOSEI」の開発・施工
- 大手自動車メーカーなど累計165万㎡の実績<sup>注1</sup>

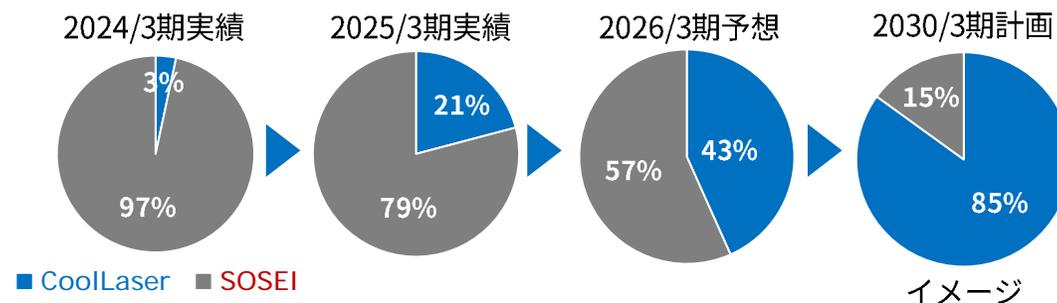


### CoolLaser (クーレーザー)

- 老朽化したインフラのサビや塗膜等をレーザーで除去する「CoolLaser」の開発・製造販売
- 2024年9月より納品スタート



## 事業別売上構成比の変化



# 2018年から開始した資金調達により CoolLaserの開発を加速。2023年上市に至る。

レーザー施工研究会にて

- ・「レーザー照射処理に関する安全ガイドライン」公表
- ・レーザー照射処理管理技士、レーザー照射処理施工士の資格認定制度開始

売上高

- ・一般社団法人レーザー施工研究会立ち上げ
- ・JIS規格「JIS Z 2358 レーザー照射処理面の除せい（錆）度測定方法」制定

豊澤が光産業創成大学院大学に入学し、CoolLaserの共同開発を開始



現CEO（豊澤）当社参画（2003）  
SOSEI工法の開発（2006）

塗装・防水工事で創業

CoolLaser初の市販モデル「G19-6000」シリーズ発売

「G19-6000」シリーズ納品開始

東証グロース市場上場

7億円資本調達

7億円資本調達

2億円資本調達

14億円資本調達

CoolLaserの開発拠点浜松研究所を開設

1996

2006

2008

2014

2018

2019

2021

2023

2024

2025

SOSEI 開発フェーズ 社会実装フェーズ

事業成長・収益化フェーズ

CoolLaser

開発フェーズ

社会実装フェーズ

事業成長・収益化フェーズ

We are here!

# 光学×建設×スタートアップ経営に熟知した 経営メンバーが集まる。

CoolLaser事業において、メイドインジャパンで屋外用途として**世界最高水準の出力を誇るレーザー施工装置「CoolLaser®」を開発・製造するディープテック企業注。**



**豊澤 一晃**  
代表取締役CEO

トヨコー創業家2代目として建設業に精通。元デザイナー。オンリーワン技術のSOSEI、CoolLaserを創出。



**鈴木 紀行**  
取締役COO

東光（現 村田製作所）、ローム、NVIDIA、EDGEMATRIXで重要ポストを歴任。大企業や自治体向け販売戦略策定やセールス部門を牽引。



**白井 元**  
取締役CFO

PwC、フロンティアマネジメントでコンサルティング。デロイトトーマツのIPO部隊でマネージャー。公認会計士



**守屋 実**  
取締役

ミスミを経てラクスルなどの創業に参画。博報堂、JAXAなどのフェロー、内閣府有識者委員を歴任。新規事業家



**佐々木 輝**  
取締役（常勤監査等委員）

デロイトトーマツで監査やM&A業務。独立後、決算支援や会計コンサルティング、上場準備会社の決算・管理体制構築支援。公認会計士



**阿部 洋**  
取締役（監査等委員）

デロイトトーマツでベンチャー支援や管理体制構築支援に従事。その後税理士法人を設立し、代表社員に就任。公認会計士・税理士



**川添 文彬**  
取締役（監査等委員）

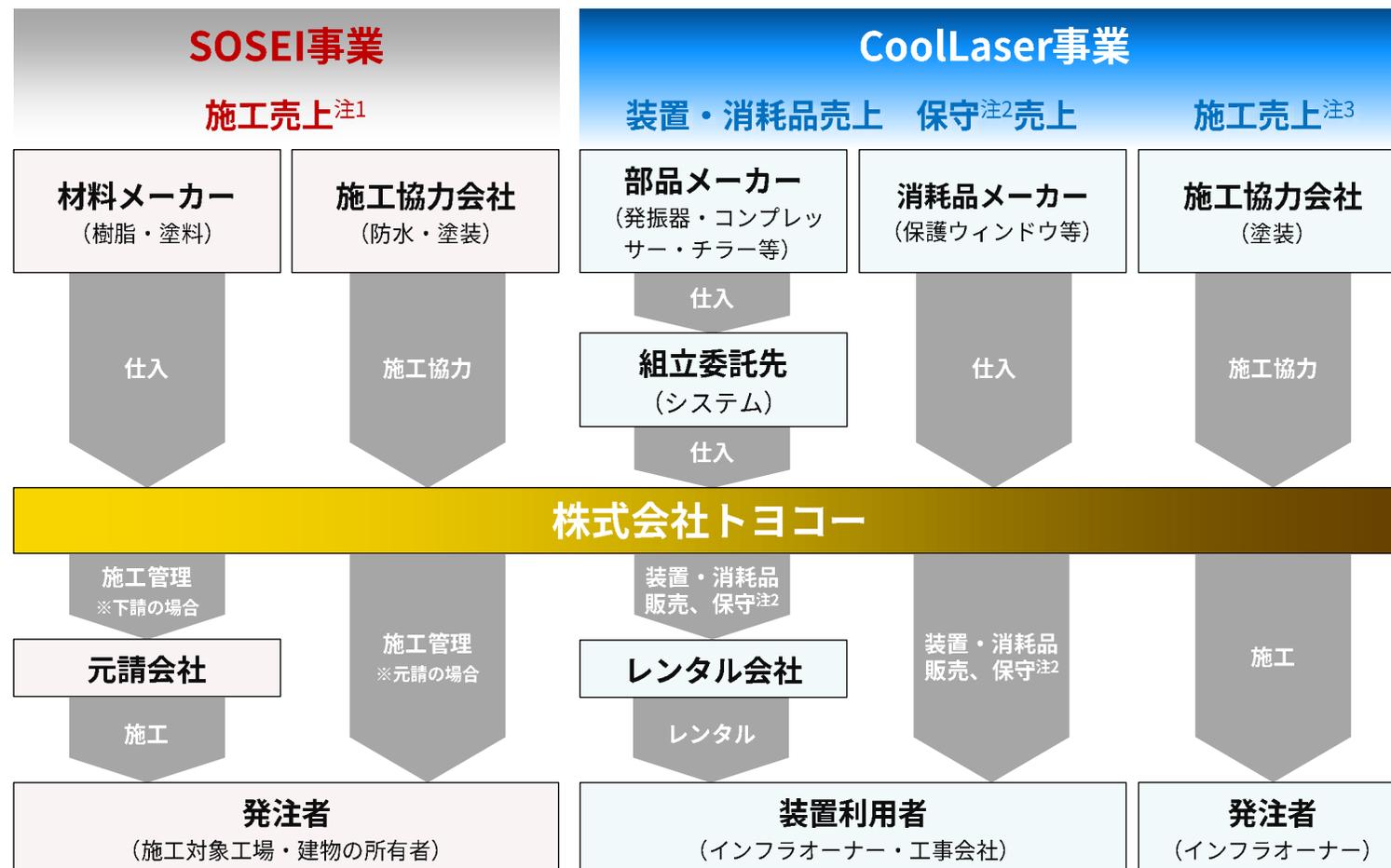
アンダーソン毛利で企業法務・租税法務を経験。オランダのライデン大学で国際租税法のLLM取得。法律事務所Y Cube代表 弁護士

注：当社は2024年11月に量産体制を整備するための資金を株式会社みずほ銀行から借り入れる際、経済産業省から革新的技術研究成果活用事業活動計画の認定を受けたディープテックベンチャー企業として、中小機構が貸付金額の50%を債務保証する革新的技術研究成果活用事業円滑化債務保証制度に採択された。

# インフラメンテナンス業界における 2つの独自技術を事業展開。

SOSEIは、特殊な3層の樹脂を老朽化した屋根上に吹き付ける工法を、当社自らが受注・施工管理を行う責任施工の形態で、実作業は協力会社のサポートも得ながら顧客へ役務を提供する。

CoolLaserは装置メーカーとして装置販売の他に、台数の増加と共に継続収益となる消耗品販売や保守メンテナンスを手掛ける。



注1：SOSEI事業の施工売上は、元請会社経由の受注が中心。  
 注2：CoolLaser事業の保守サービスは、今後提供予定である。  
 注3：CoolLaser事業の施工売上は、装置性能を確認するための試験施工が中心である。

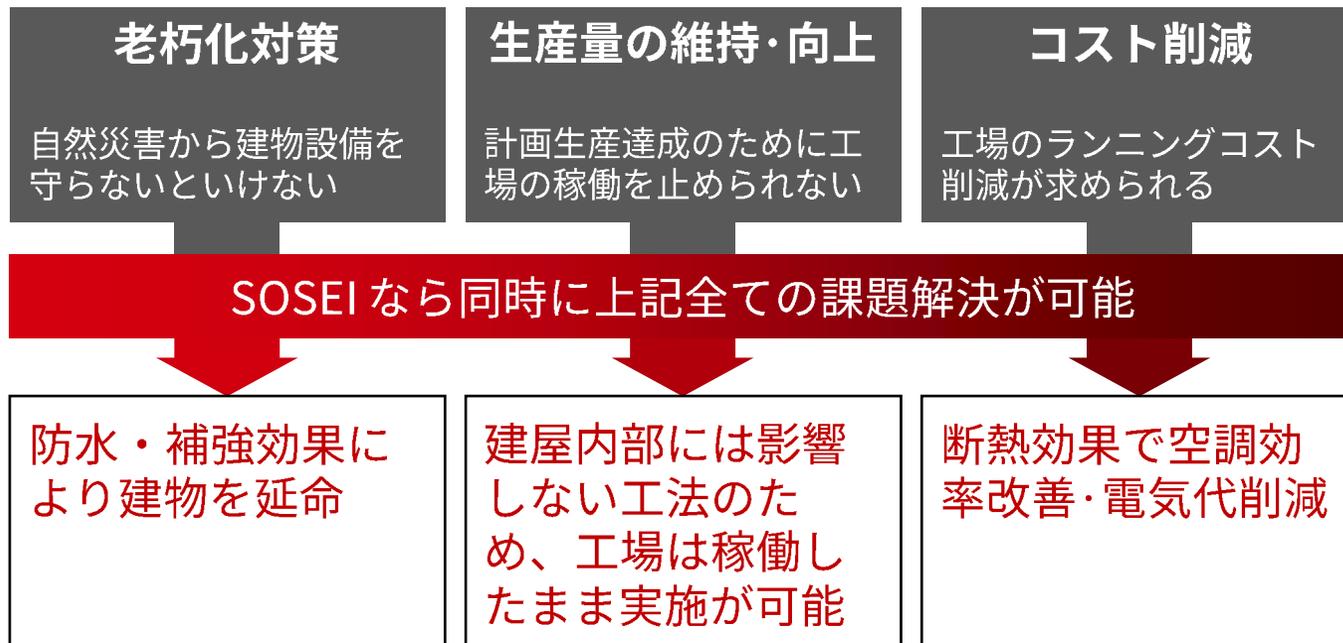
## 2：事業の概要・成長戦略（SOSEI）



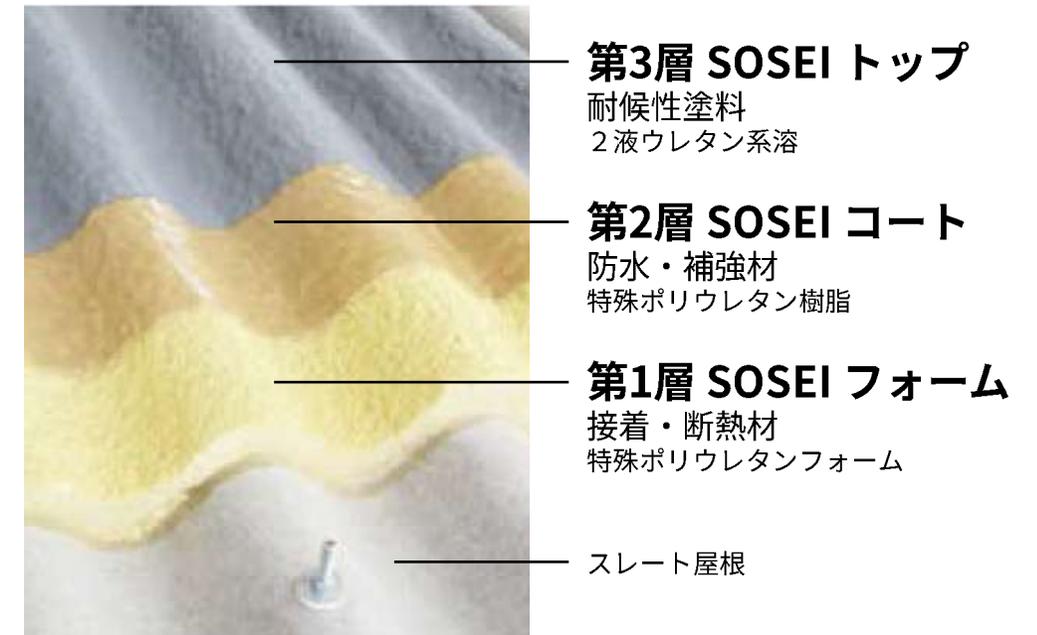
# 工場・倉庫の老朽化や 省エネ対策を 当社独自素材である SOSEI が解決。

SOSEIは工場・倉庫の設備や生産品を様々な自然災害から守り、屋根の魔法瓶効果<sup>注1</sup>で建屋内の空調効率を改善。電気代とCO2排出量の大幅削減に貢献。施工品質と作業員の安全性を両立する工法特許を取得<sup>注2</sup>。

## 発注者（製造業・物流業）のペイン



## 特殊な3層の樹脂を大手化学メーカーと 共同開発・独占調達契約を締結



注1：1層目の断熱層により、建屋内が夏場は涼しく冷房効率を高め、冬場は保温効果で暖房効率を高める。  
注2：特許第7332142号、第6815548号

# SOSEI は気候変動対策に寄与

# 冷暖房期の省エネ効果

## 台風から守る

強風時、スレート目地や端部へ隙間風が入り込まないため、割れ、飛散を防ぎます。近隣への被害を防止します。

台風一過の屋根の上から見ると、滑々しい爪痕が残る屋根(点線より右)のすぐ隣のSOSEIで補強された屋根(点線より左)は、ほぼ無傷でした。

## 地震から守る

屋根荷重が2.3~2.5 kg/m<sup>2</sup>と軽量のため、建屋構造に負担をかけず、耐震工事を行う際の補強費用を軽減できます。また、屋根材、天井材の建物内への剥落のリスクが低くなります。

東日本大地震直後の調査結果。SOSEI工法で補強されていた屋根は、損害を免れていたことがわかりました。

## ゲリラ豪雨から守る

スレートの重なり目や、フックボルトの周囲をシームレス化することにより、漏水を予防します。

温暖化により亜熱帯化する日本列島は、毎年のようにゲリラ豪雨に見舞われています。区は大雨警報発令時の中国四国地方の等雨量線区。

## 気温上昇から守る

断熱性の向上によって、猛暑日も屋根裏室温の上昇を抑えます。

サーモカメラで屋根を撮影した実際のデータ。右がSOSEI施工済み、左がスレートのままの屋根。断熱効果が一目瞭然です。

屋根裏の温度が最大20°C低下

年間電気料 **34% 削減**  
 年間CO2排出量 **112t 削減**

出所：モデル建屋 (L48m×W20m×H5m) にてSOSEIを施工した場合の、施工前後の熱損失量の差を求め、年間を通じた暖冷房期の平均外気温と室内温度、稼働時間を設定し、熱負荷の差から省エネ効果を数値化。

注：実際の導入事例であり、効果を保証するものではありません。

# 強度不足のスレート屋根でも 太陽光パネルを設置可能に（特許出願済）。

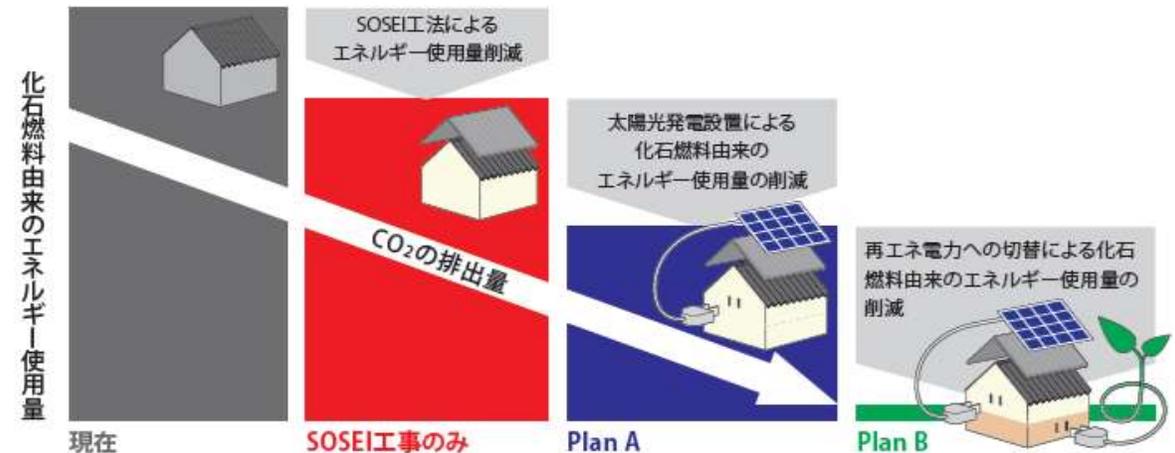
SOSEIは、強度不足で太陽光パネルの設置が不可能とされたスレート屋根を補強。  
太陽光パネルを設置できるようにすることで工場・倉庫のゼロカーボン化の達成にも貢献。

## SOSEI + 太陽光パネル設置事例（中国地方 1万㎡）



## 省エネ 創エネ 再エネ SOSEI + 太陽光発電 + 再生可能エネルギー切り替え

劣化したスレート屋根を SOSEI で補修&強化&断熱し、強化された屋根面に太陽光パネルを設置し発電し、賅え切れないエネルギーを再エネ由来のエネルギーに切替えることで、ゼロカーボン化への貢献ができます！



注：SOSEI・太陽光発電・再生可能エネルギーをそれぞれ利用した際のエネルギー使用量とCO2の排出量に関するイメージ図

SOSEIは脱炭素化、省力化の時代背景を後押しに、国内BtoB屋根メンテナンス市場でNo.1を目指し海外にも展開。

3年後

5年後

短期

中期

長期

施工体制拡充(採用強化・代理店<sup>注1</sup>)

SOSEI+太陽光(SOSEIソーラー)を協業先と共に事業化

SOSEIソーラー本格化

金属屋根向けSOSEIラインロボ本格化

工場・倉庫向け屋根メンテナンス市場 国内No.1

海外展開



注1：営業、施工管理及び施工を実施頂く代理店

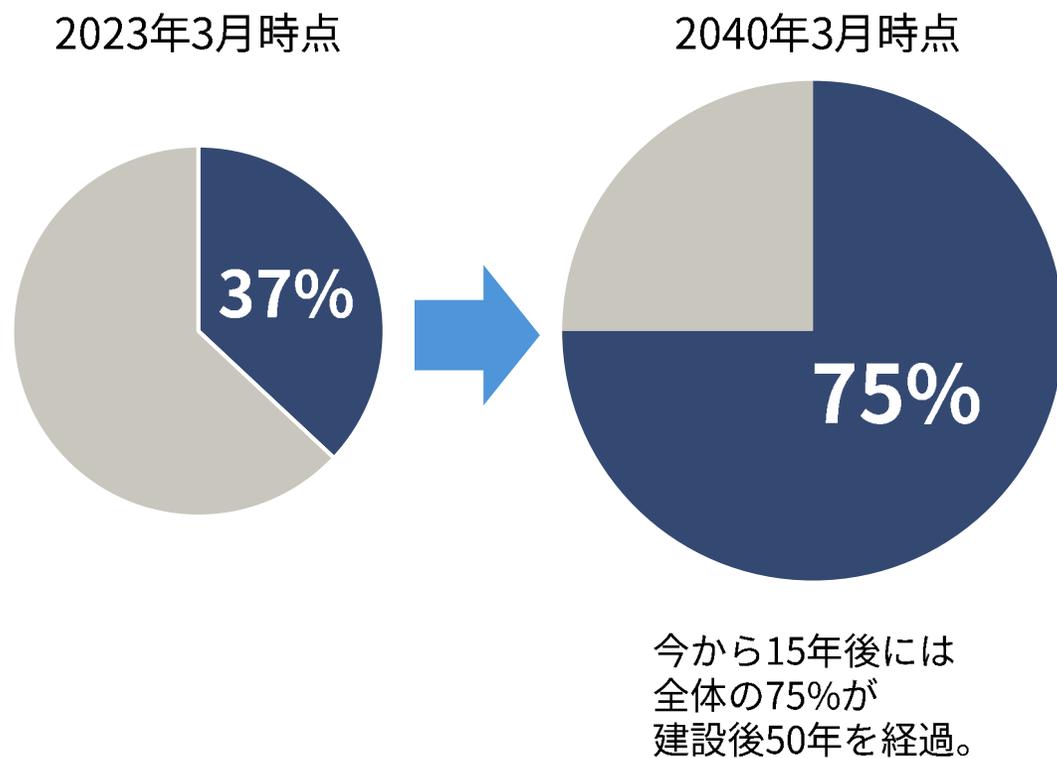
注2：上表はあくまでも今後の計画であり、その達成を確約するものではありません。今後、計画の見直しや実行時期の変更等が入る可能性があります。

### 3：事業の概要・成長戦略（CoolLaser）

CoolLaser®

社会インフラの老朽化、予防保全の取り組みは  
今後加速度的に進む可能性大。

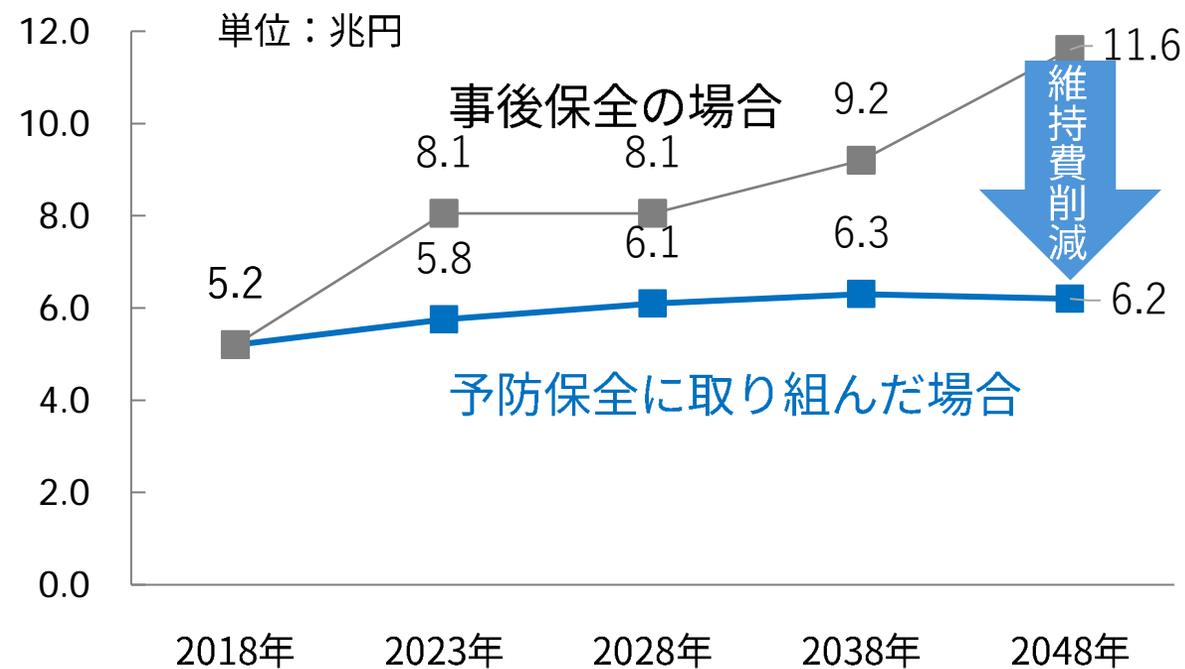
## 建設後50年以上経過する道路橋の割合<sup>注1</sup>



注1：国土交通省「社会資本の老朽化の現状と将来（2025年7月16日時点）」

注2：国土交通省所管分野における社会資本の将来の維持管理・更新費の推計（平成30年11月30日）」より、20年後（2038年度）の事後保全と予防保全にかかる維持管理コストの差から算出。

## インフラ維持管理・更新費の将来推計<sup>注2</sup>



予防保全に用いられるCoolLaserのニーズは今後、  
継続的に高まることが見込まれる。

# レーザー技術で産廃物を産まず注、 サビの再発原因の塩分まで除去可能。

注：喜畑友美・佐々木泰崇(2016) "循環式エコクリーンプラスト工法による鉛・PCB有害物質を含む産業廃棄物の削減効果" P2  
<https://www.cbr.mlit.go.jp/kikaku/2016kannai/pdf/in05.pdf>より、1㎡の塗膜1kg/㎡の除去にプラストは40kg/㎡の研削材を使用。産廃物の埋立処分場までの搬出に要するCO2排出量はCoolLaser 1kg/㎡÷プラスト 41kg/㎡=2.4%となり、プラスト比98%削減

CoolLaserは世界最高峰の高出力レーザーで、従来はサビが除去しきれなかったボルト部など複雑な形状の箇所も早く、キレイに処理が可能。



Before



After

CoolLaserの紹介動画は  
[こちら](#) ※YouTubeが開きます。



テクノロジー 2024-07-18  
 インフラを守るテクノロジー「47」

YOUTUBE >

出所：Japan Video Topics  
 「インフラを守るテクノロジー」  
 URL：<https://web-japan.org/jvt/ja/>



Before



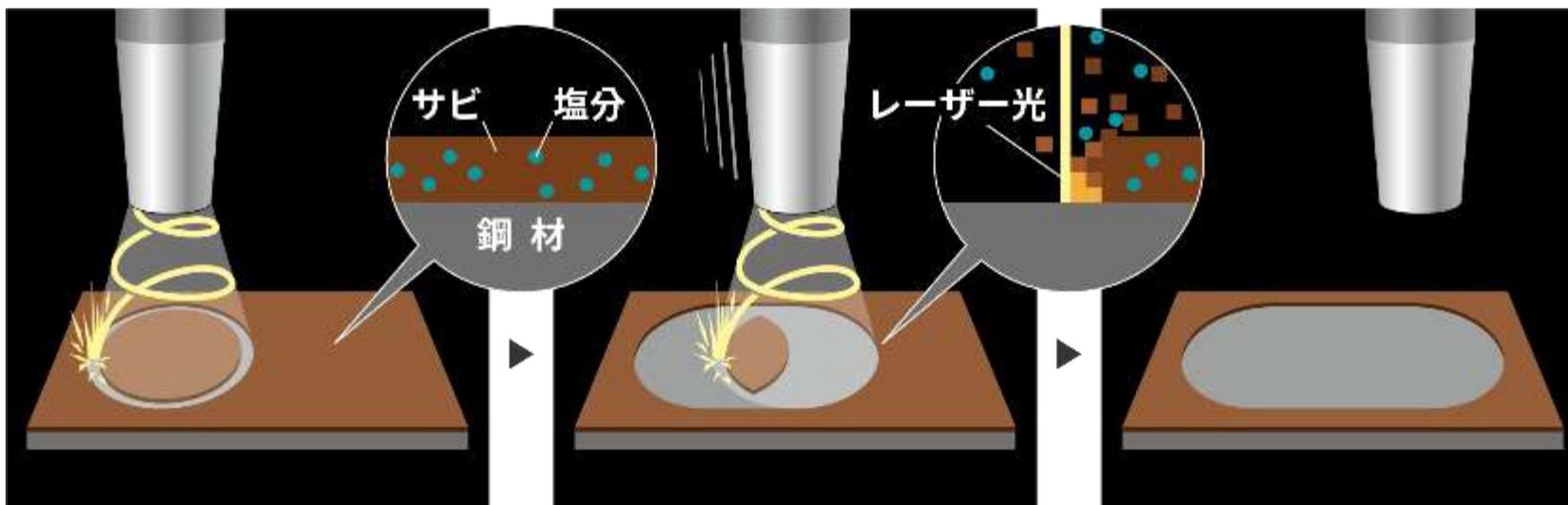
After

CoolLaser は日米で権利化。  
屋外工事に特化した製品で他製品とは一線を画す。

## 超高速円形照射による特許技術

特許第5574354号

US-9868179



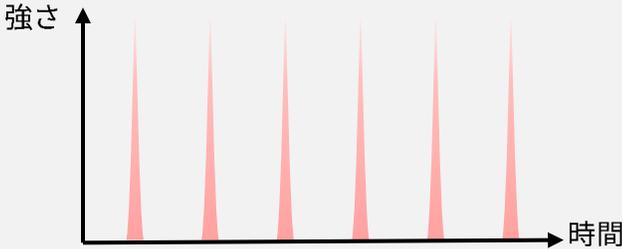
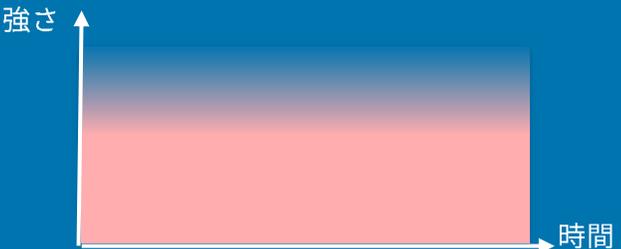
CoolLaser はレーザー光で鋼材表面の塗膜・サビ・有害物質を熔融・蒸散・熱破碎により除去しながらも、円回転による超高速スキャンで鋼材そのものへの熱影響は抑制する画期的な技術。

### 知的財産権の状況

2025年10月末時点

単位：件	国内	海外
取得済	19	7
出願中	12	6
<b>合計</b>	<b>31</b>	<b>13</b>

# 独自の特許技術が生み出す 一般的なレーザークリーニング装置との違い。

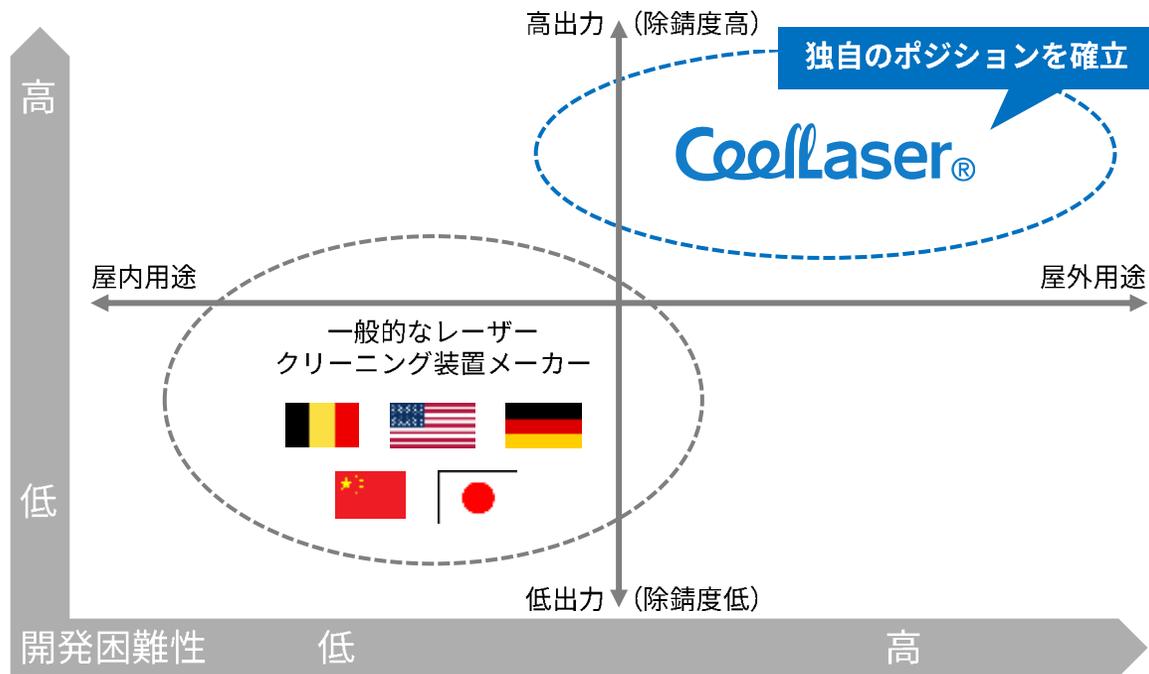
	一般的なレーザークリーニング装置	Coollaser®
熱影響と施工速度	熱影響は小さいが、施工速度が遅い	熱影響は大きいですが、独自特許技術で解決し、施工速度が速い
用途例	「薄板板金・金型・重要部品」などの洗浄 「彫刻や石造建築物」など文化遺産の洗浄等	「橋梁や鉄塔などの社会インフラ鋼構造物」及び「船舶や鉄道車両」などの表面に付着したサビや旧塗膜の除去、放射性物質など有害物質の除去等
レーザー発振のイメージ	※パルス方式を採用 	※CW(連続波)方式を採用 
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>平均出力が低い</li> <li>線形スキャン方式</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平均出力が高い</li> <li>円形スキャン方式</li> </ul>
メリット	<ul style="list-style-type: none"> <li>熱影響が小さい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高出力化でき、施工速度が速い</li> <li>分厚い塗膜やサビも取れる</li> <li>発振器が安価</li> <li>長距離伝送可能で施工範囲が広い</li> <li>円形スキャン方式は手持ちで作業時に歯抜けが生じにくい。</li> </ul>
デメリット	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>高出力化が困難 (最大1kW)</b></li> <li>施工速度が遅く、分厚い塗膜やサビが取れにくい</li> <li>発振器が高価</li> <li>長距離伝送が難しく、施工範囲に限られる</li> <li>線形スキャン方式は手持ち作業時に歯抜けが生じやすい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>CW方式は熱影響が大きいですが、当社独自の特許技術でこれを解決</li> </ul>

# CoolLaser の製品ポジショニング

CoolLaser は、高出力かつ屋外用途の観点では、独自性のあるポジションを確立。  
高出力化（縦軸方向）、屋外用途（横軸方向）のいずれも様々な開発困難性を伴う。

## 現在のポジションマップ<sup>注1</sup>

注1：市販品が確認されているメーカーのHPやカタログを踏まえた当社独自の分析と検討に基づく



## 重層的な模倣困難性

- フロントランナーとしての実績
  - ✓ 2008年開発着手、2018年メディアで世界向けTV放送以来、現場実績は150超
  - ✓ 自社で建設業ライセンス保有。試作機を投入し課題を把握、開発に還元
  - ✓ サビが効率良くキレイに取れる最適なパラメータを数万通りから発見済
  - ✓ 円回転照射の特許技術で高出力化とハンディ化を両立
  - ✓ (一社)レーザー施工研究会で社会実装に向け規格化に取り組み、開発に反映。今後は国際規格化も視野
- スタートアップ活動を活かしたリソース確保、優秀なエンジニア
  - ✓ スタートアップ活動を通じた知名度向上・資金確保
  - ✓ 光学大国日本のトップメーカーから集まったエンジニア
  - ✓ 光のまち浜松に拠点を構え、高い技術力を持った協創パートナーとモノづくり
  - ✓ 大手インフラオーナーやゼネコンから資本調達を実現。CoolLaserの普及に向けた強力な株主企業群を構築

# 多様な顧客ニーズ・ 現場ペインを解決するCoolLaser

## 大手建機レンタル会社

装置売上

複数台導入し工事会社にレンタル



業界大手の建機レンタル会社は、革新的な新技術の取り入れに積極的な社風もあり、CoolLaserを複数台導入。シェアリングエコノミーの時代の潮流も後押しし、建機レンタル市場は今後の成長分野である。

## 大手電力グループ会社

装置売上

水力発電設備や送電線鉄塔に適用

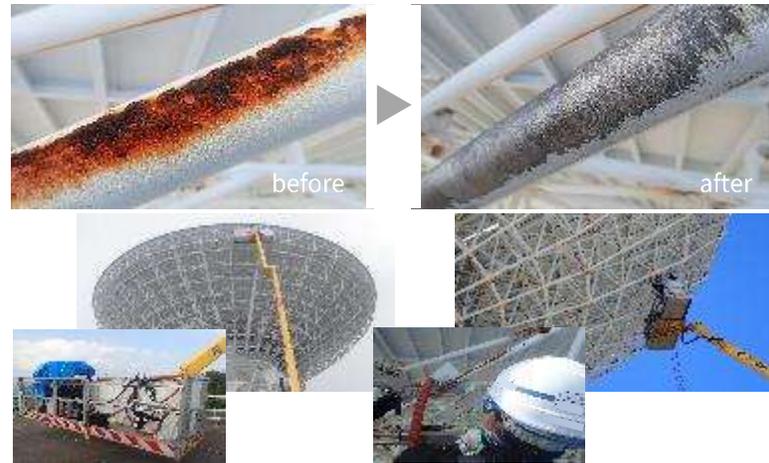


水力発電設備や送電線鉄塔のメンテナンスの工事品質を高める事でサビの再発を防ぎ、インフラのライフサイクルコスト低減につなげたい意向。人口減少社会において、作業者の減少に対応するべく新技術の導入によって担い手確保にもつなげる。

## 大手宇宙開発団体

施工売上

サビが除去出来なかった通信鉄塔に適用



高さ40mのパラボラアンテナは常時可動するため仮設足場が組めず、沿岸部特有の厚いサビが除去出来なかった。

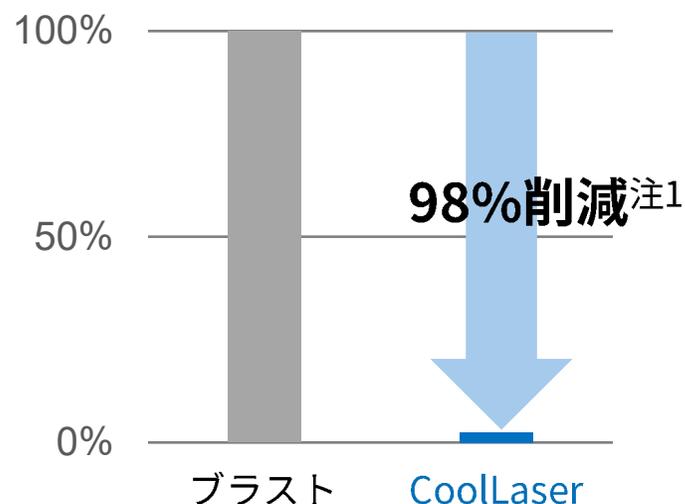
CoolLaserは研削材等を使用しないため粉塵が飛散しないため、足場レスで作業ができ、工期やコストの削減を実現。

部分塗替の際のこのようなニーズは、各地にある。

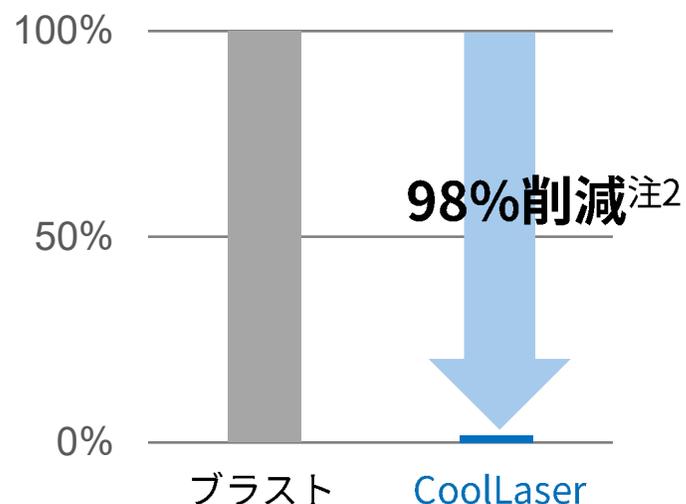
# CoolLaser は既存工法より 地球環境と作業者に優しく、廃棄費やLCCを低減。

CoolLaserは作業現場の3Kを3C（Cool Clean Creative）に変え、作業者のウェルビーイングに貢献。  
塩分除去でサビの再発を抑制しライフサイクルコストを低減させ、限られた予算内でのインフラの維持管理に貢献。

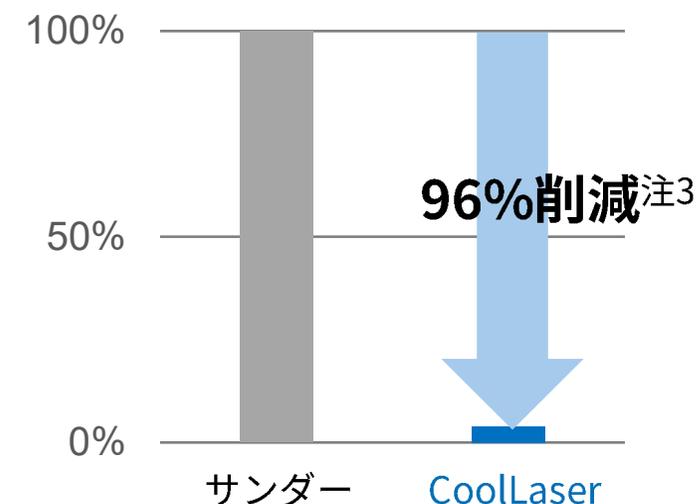
## 産廃処理費・CO2排出量の削減



## サビの再発原因となる塩分の除去



## 作業者に有害な鉛・PCB等の低減



注1：サトブラスト工法による塗膜除去時の研削材40kg/m<sup>2</sup>÷(塗膜1kg/m<sup>2</sup>+研削材40kg/m<sup>2</sup>)=98%削減。出典：喜畑友美・佐々木泰崇(2016)「循環式エコリソブラスト工法による鉛・PCB有害物質を含む産業廃棄物の削減効果」

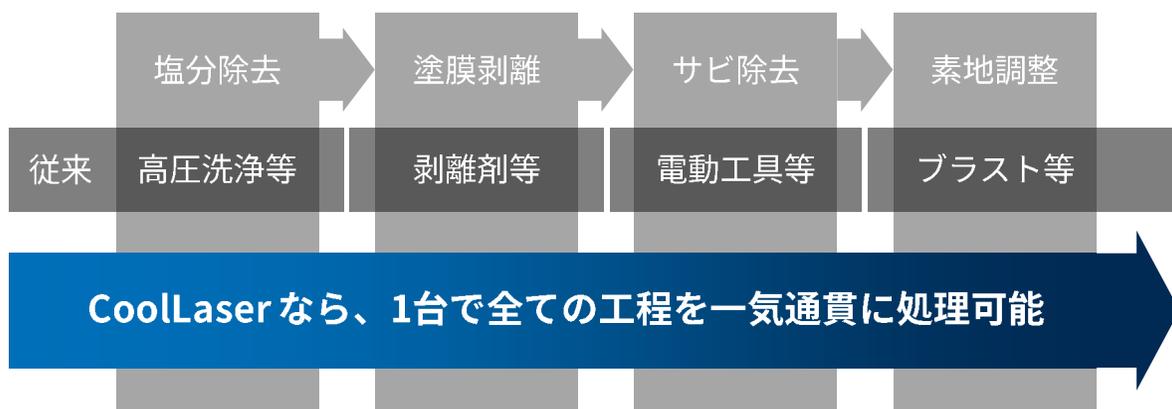
注2：1-レーザーハイブリッド(CoolLaser+カップワイヤ)工法0.6mg/m<sup>2</sup>÷サトブラスト工法35.4mg/m<sup>2</sup>=98%削減。出典：土木新技術フォーラム2023 in 東京（開催日：2023/09/27 主催：国立研究開発法人土木研究所）「レーザーによる表面処理技術を活用した素地調整技術」

注3：1-CoolLaser2.4mg/m<sup>2</sup>÷動力工具(ダイヤモンドツール)利用時の鉛濃度61mg/m<sup>2</sup>=96%削減。出典：(株)環境管理センター「塗膜剥離作業時の作業環境測定(2024/3/25)」

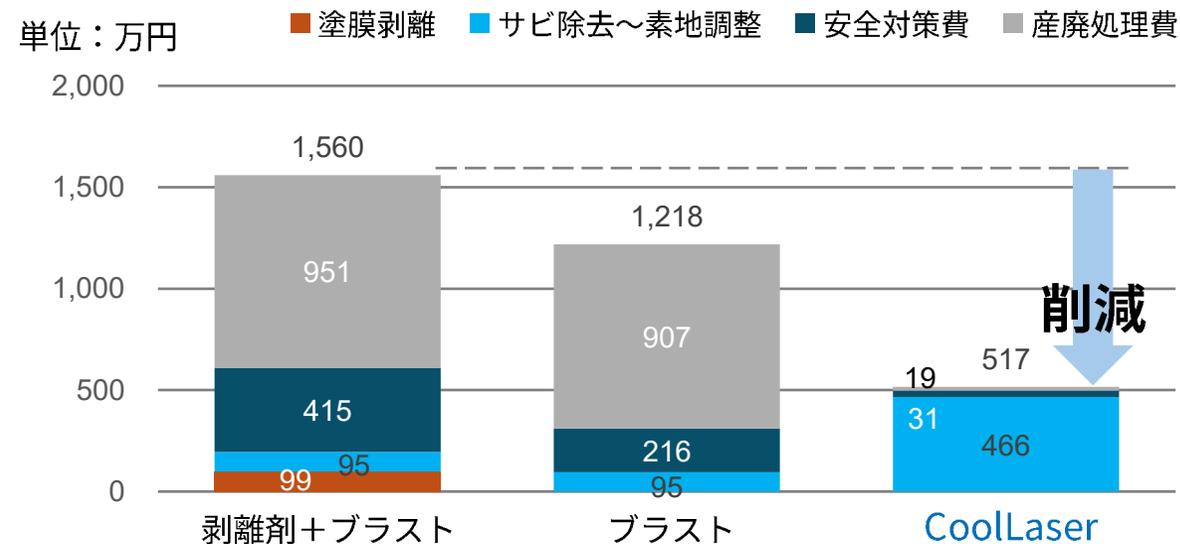
# CoolLaser は全ての工程を一気通貫に処理でき、コストも削減できる。

従来、下地処理は工程別に機材入れ替えが必要であったが、CoolLaserなら一気通貫に行える。産廃処理費等のコストも削減でき、他の優位性も踏まえると発注者、作業者、利用者3者とも利点大きい。

## 下地処理の工程別工法



## 工法別のコスト比較 注1



注1：出所桁端部（処理面積:73㎡）、旧塗膜:300μm（PCB含有）の場合を想定し、自社で試算。ブラストの研削材は鉍砕スラグ・ガーネット（非金属系研削材）利用を想定。

# CoolLaser がターゲットとする インフラメンテナンス市場は、広大で数も多い。

鉄と酸素があれば、あらゆる構造物はサビによる腐食が生じる。  
屋外構造物のメンテナンスニーズは幅広く、当社は以下を重点分野として事業を推進。



数 国内の数

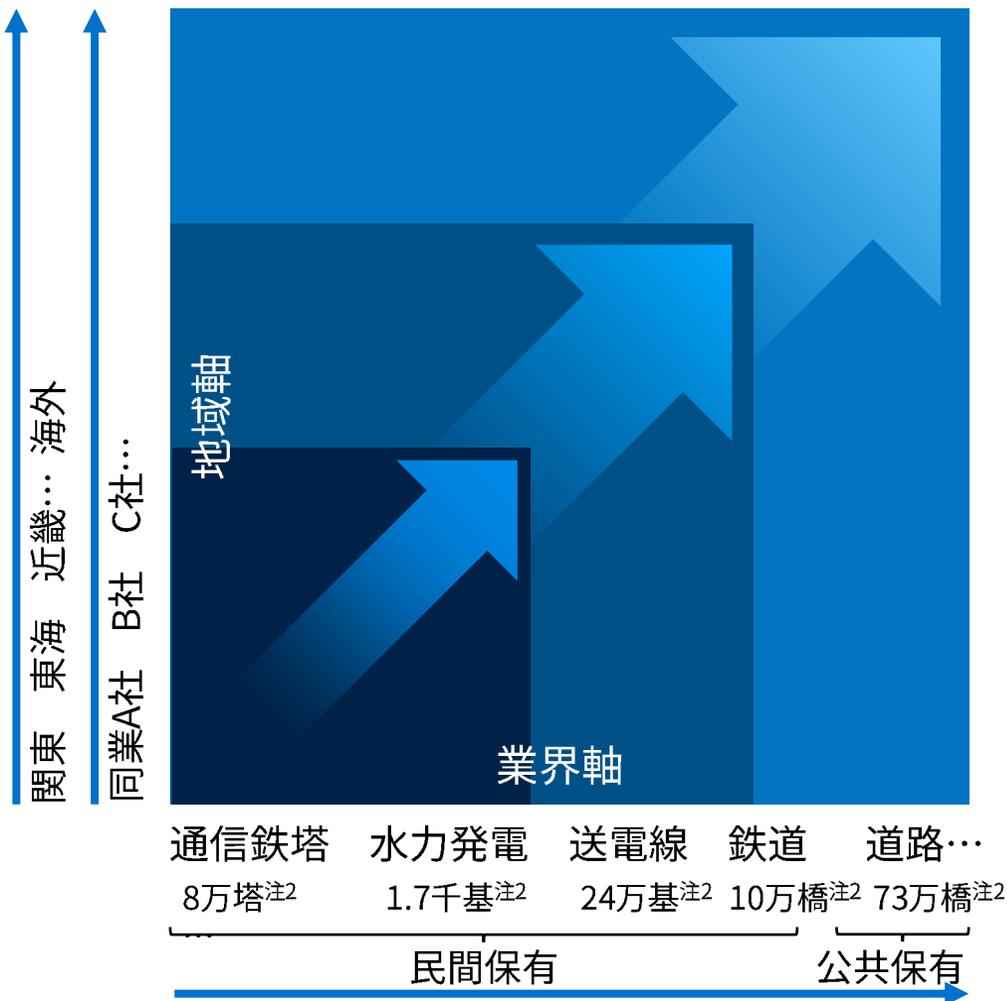
○ プラストが使われている市場

注：世界のプラスト販売市場規模 8.7 Billion USD(a) × 145円/USD(2024/9/27TTM 三菱UFJリサーチ&コンサルティング) × 6.4%(b) = 国内のプラスト販売市場規模 800億円  
(a)Maximize Market Research社世界のショットプラストマシン市場(2023年) (b)弘文社「佐藤隆良の海外建設市場シリーズ(3)-市場規模編(2015年)」日本の建設市場規模2576億USD ÷ 世界の建設市場規模4兆USD  
市場規模については、公開情報又は第三者作成のデータ等に基づき、上記の計算方法により当社が試算した数値であり、統計調査や第三者作成のデータの精度には限界があるほか、当社による一定の前提又は仮定に基づいて試算した推計値であるため、実際の市場規模とは大きく異なる可能性がある。  
出所：道路=国土交通省「道路統計調査(2022.3)」、鉄道=国土交通省「鉄道統計年報(令和3年度)」、通信=JTOWER事業計画(2024.5)、送電=経産省「鉄塔・電柱に係る技術基準をめぐる現状について(2019.11)」、海事=日本内航海運組合連合会・海運統計要覧(2019)、ドック=国交省港湾局(2023.4)、プラント=資源エネルギー庁「電力調査統計(2019)」、保管=資源エネルギー庁「石油設備調査(2020.3)」

# CoolLaserの今後の成長戦略

業界ごとにレーザー施工の仕様化や実績を積み上げ、他地域や同業他社、海外に展開。インフラメンテナンスは業界が多岐に渡り数も国内外に膨大であるため、自社利用に限定せず装置メーカーとして、ユーザーと共に広く社会インフラの維持に貢献する。

## 拡販イメージ



## 業界軸の展開施策例

- ✓ 高速道路会社へ向けた技術審査証明の取得
- ✓ 鉄道分野の長寿命化実証による鉄道便覧仕様化
- ✓ 大手電力中核工事会社による送電線鉄塔施工方法確立

## 地域軸の展開施策例

- ✓ 販売パートナー（リース会社、代理店）との提携
- ✓ 建機レンタル会社による全国規模の装置配置
- ✓ 展示会を通じた拡販

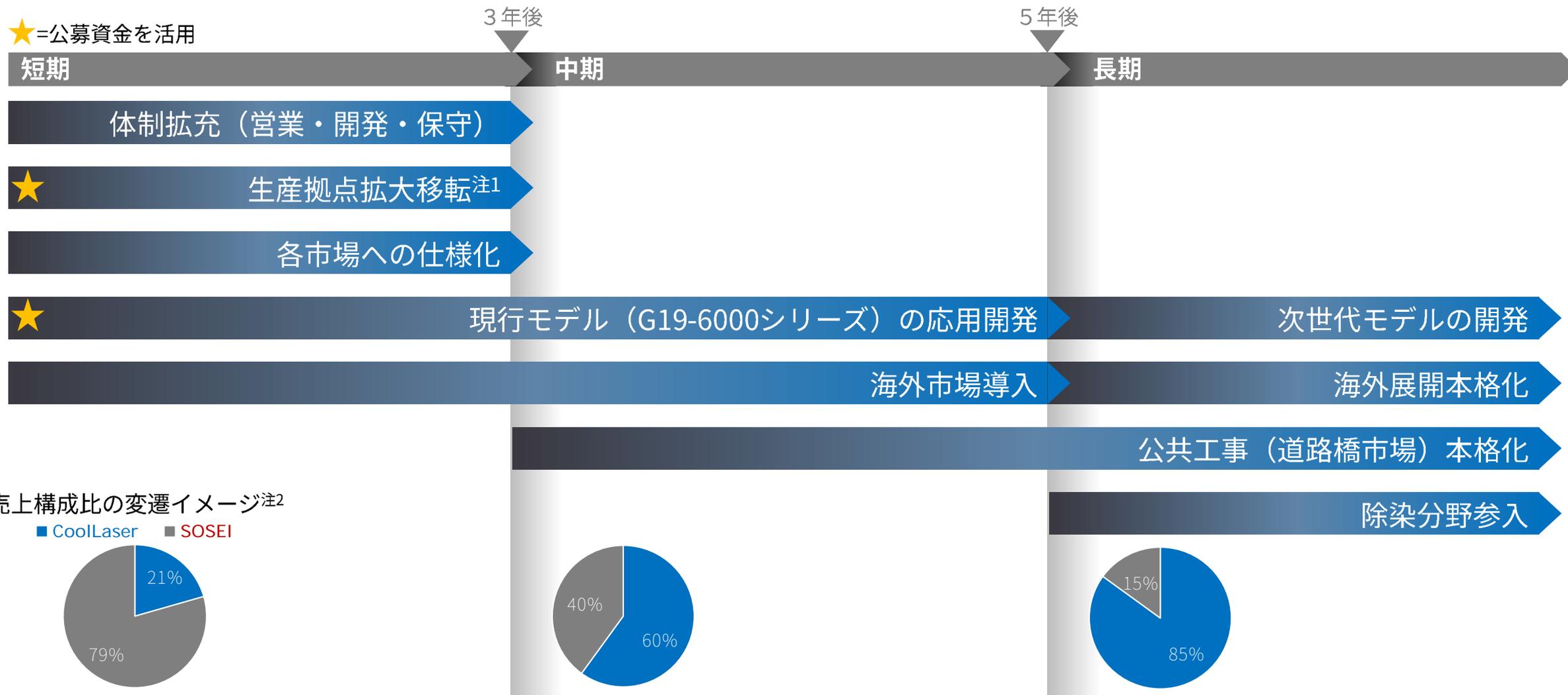
## IPOを活用した上場後の成長戦略

- ✓ 調達資金を活用し営業体制拡大、リード数増加
- ✓ 調達資金を活用し海外PoCの実施（例：米国州政府交通局、国営オイルメジャー等）
- ✓ IPOによる認知度向上、企業信頼度向上による受注率UP

注1：上表はあくまで当社が現時点で想定するCoolLaserの展開に関するイメージ図であり、具体的な計画や予想を示し、あるいはその達成を確約するものではありません。

注2：国内の数を記載。出所はP.17参照。水力発電=資源エネルギー庁「電力調査統計(2019)」

# CoolLaserは生産・販売体制を拡充し海外へ販路を広げ、 公共工事に採用される事で広く社会課題解決に貢献。



注1：移転先の土地・建物は取得済であり、移転作業を進めております。

注2：上表はあくまでも今後の計画であり、その達成を確約するものではありません。今後、計画の見直しや実行時期の変更等が入る可能性があります。

## 4 : 2026/3期 2 Q決算概況



2026.3期2Qは通期予想に対する売上進捗率55%。

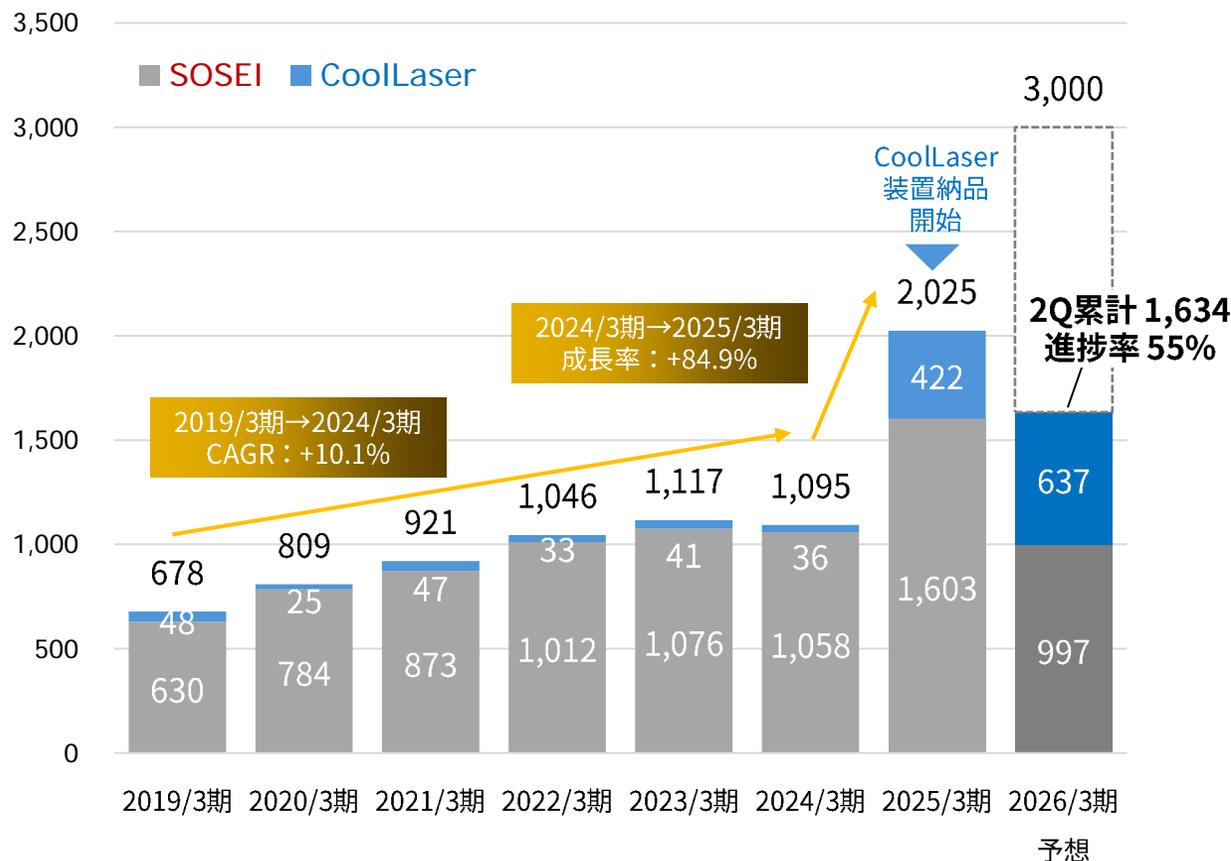
開発費率は低減傾向で、営業利益は拡大傾向。

CoolLaserは前期に引き続き、装置販売で売上成長。

継続成長のSOSEIが基盤となり、CoolLaserの高成長を下支え。

## 売上高の推移

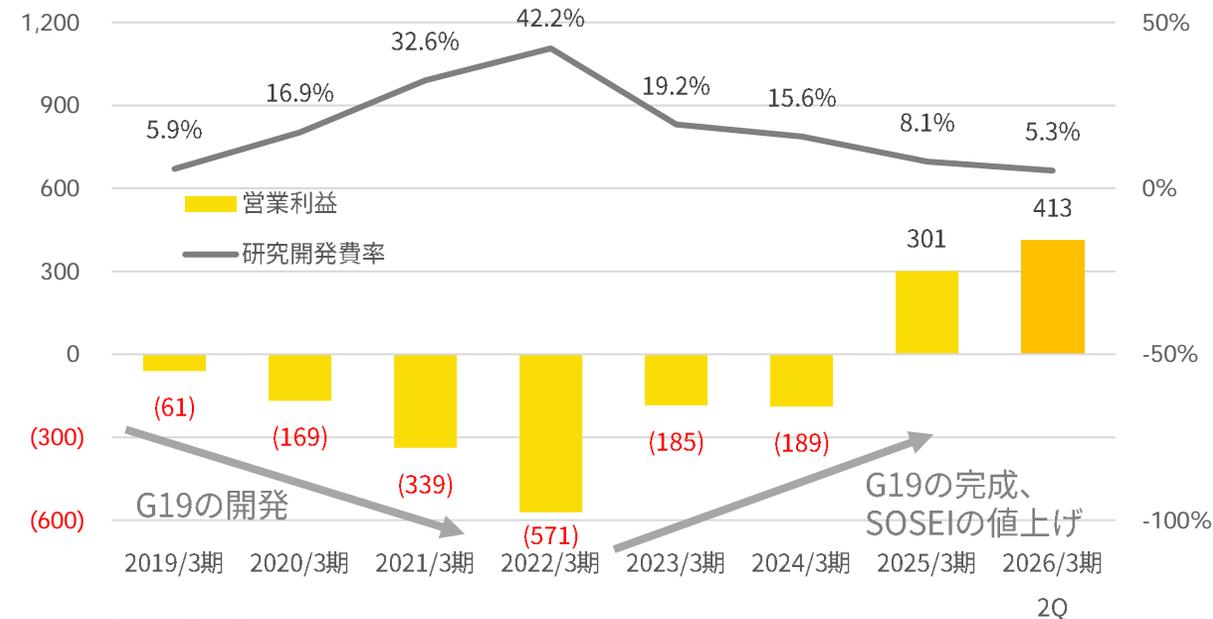
単位：百万円



## 営業利益と研究開発費率注の推移

左軸：営業利益 (百万円)

右軸：研究開発費率



事業別営業利益 (百万円)

	2019/3期	2020/3期	2021/3期	2022/3期	2023/3期	2024/3期	2025/3期	2026/3期2Q
SOSEI	146	173	144	101	158	280	571	409
CoolLaser	-98	-191	-348	-512	-186	-325	-69	130
本社費	-109	-151	-134	-160	-157	-143	-201	-126
合計	-61	-169	-339	-571	-185	-189	301	413

注：研究開発費率＝研究開発費÷売上高

受注残高について、SOSEIは期間1年以上案件の受注により山谷がある。CoolLaserも新工場稼働開始で見込生産に切り替えるため、短期的な売上との相関は限定的となる見込み。

リードタイムについて

- SOSEI**
- ・受注から着工までは約1ヶ月、着工から完工までは長くとも6ヶ月程のため、本来受注残高が積み上がるビジネスモデルでは無い。
  - ・工事進行基準を採用。売上進捗で受注残高が消化。

**CoolLaser**

- ・受注から納品まで約6ヶ月。

2024/3期について

- SOSEI**は、2年半に渡る大型案件を受注。
- CoolLaser**は、装置販売の開始で受注高が増加。

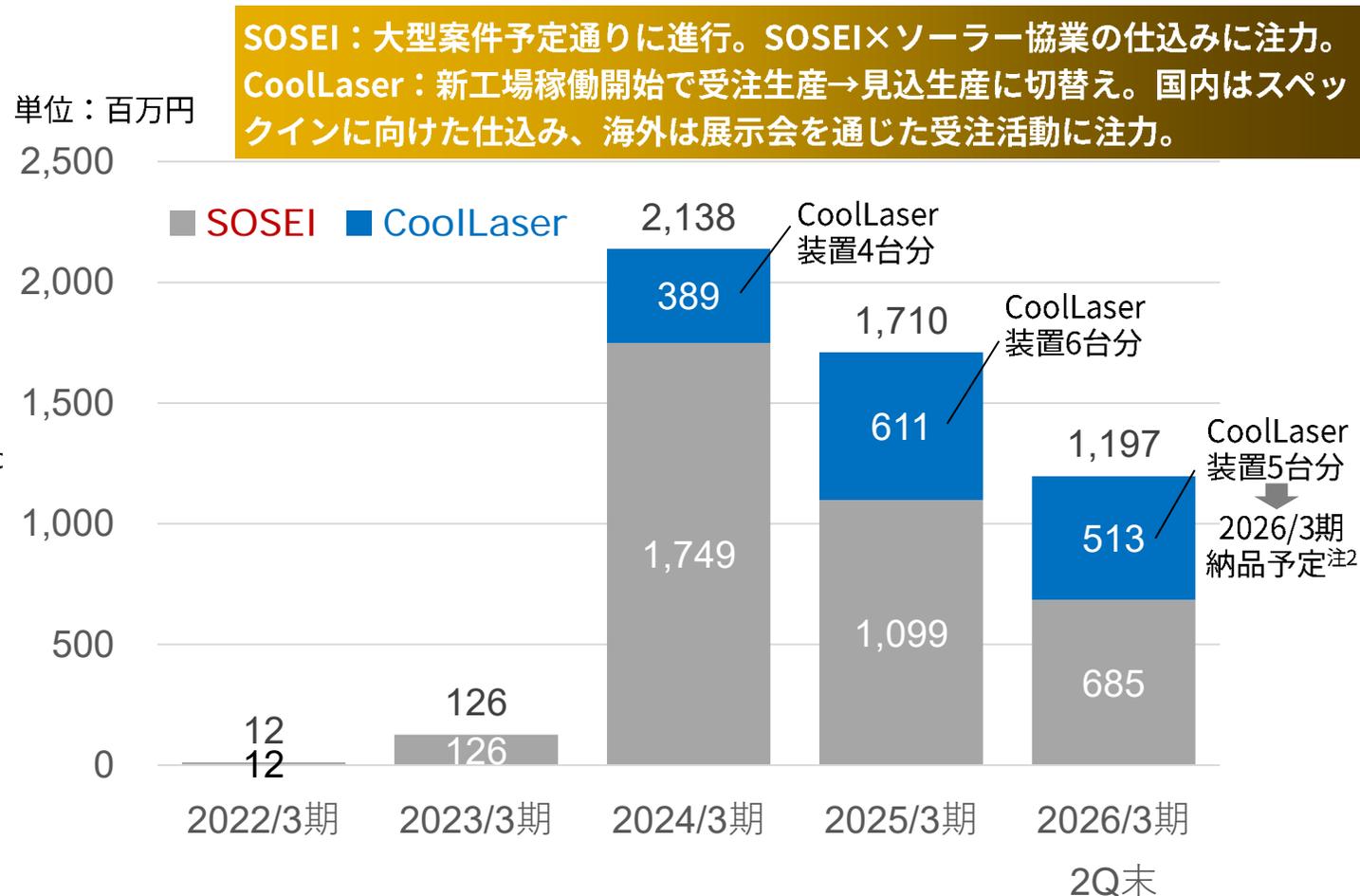
2025/3期について

- SOSEI**の受注残高は、大型案件進行で消化。大型案件受注を機に拡大したキャパシティを売上成長に繋げる。
- CoolLaser**は、2026/3期上期納品予定分を受注済。

2026/3期2Qについて

- SOSEI**は大型案件が予定通りに進行。次フェーズ獲得に向けた営業活動や、SOSEI×ソーラー協業の仕込みに注力。
- CoolLaser**は、2Q中に受注済案件の失注を踏まえ、新工場稼働開始を機に受注生産から見込生産に切替え。国内はスペックインに向けた仕込み、海外は展示会を通じた受注活動に注力。

事業別・年度別受注残<sup>注1</sup>の推移



注1：受注残＝各事業年度の期末時点で受注済み案件の受注額の累計額－当該事業年度までに売上計上された額  
注2：納品予定時期については、現時点における納品予定時期を記載しており、実際の納品時期と異なる可能性がある。

# 2026.3期2Qは前期に引き続き収益性を保ちながら、売上は成長。

❶ CoolLaserは2025.4~9に装置6台納品。通期で12台納品予定。SOSEIの1Qは通期予想の2025.3期→2026.3期成長率+6.1%を上回る、+22.4%で着地。

❷ 全社の売上総利益率は2025.3期に引き続き、40%台。SOSEIは建設業の平均水準約25%<sup>注1</sup>と比べ高水準。

❸ 全社従業員数(PA込)2025.3末40名→2025.9末47名(内訳：SOSEI+4、CL+2、本社+1)により人件費は増加。※表内の人件費は役員報酬を含む。

❹ 支払手数料は、定時総会費用(招集通知の印刷や発送等)5Mを6月計上、HPリニューアル費用10Mを7月計上により、前年同期比増。3Q以降はIPO関連費用中心に前年同期比減を見込む。

注1：出所 一般財団法人建設業情報管理センター「建設業の経営分析(令和5年度)概要版(2025/2/14)」P.14

## 財務諸表分析

(単位：百万円、%)	2024.3期 (実績)		2025.3期 (実績)		2025.3期2Q (実績)		2026.3期2Q (実績)		
		構成比		構成比		構成比		構成比	前期比
売上高	1,095	100.0	2,025	100.0	921	100.0	1,634	100.0	177.5
SOSEI事業	1,058	96.6	1,603	79.1	815	88.5	997	61.0	122.4
CoolLaser事業	36	3.4	422	20.9	106	11.5	637	39.0	601.1
売上原価	789	72.1	1,163	57.4	524	57.0	901	55.1	171.7
SOSEI事業	645	61.0	898	56.0	452	49.2	520	52.1	114.8
CoolLaser事業	143	392.0	264	62.6	71	7.8	381	59.8	529.9
売上総利益	305	27.9	862	42.6	396	43.0	733	44.9	185.1
SOSEI事業	413	39.0	704	44.0	362	39.3	477	47.9	131.8
CoolLaser事業	-107	△ 292.0	158	37.4	34	3.7	256	40.2	751.0
販売費	494	45.2	561	27.7	262	28.5	320	19.6	122.1
人件費	153	14.0	190	9.4	91	9.9	111	6.8	121.8
研究開発費	170	15.6	163	8.1	78	8.5	87	5.3	111.9
支払手数料	103	9.4	110	5.5	52	5.7	61	3.8	118.2
その他	66	6.1	96	4.8	40	4.4	59	3.7	147.5
営業利益	-189	△ 17.3	301	14.9	134	14.6	413	25.3	308.1
SOSEI事業	280	26.5	571	35.7	293	36.0	409	41.0	139.5
CoolLaser事業	-325	△ 885.4	-69	△ 16.4	-74	-	130	20.5	-
本社費	-143	△ 13.1	-201	△ 9.9	-85	△ 9.2	-126	△ 7.7	148.9
営業外収益	59	5.4	3	0.2	2	0.2	3	0.2	146.9
営業外費用	28	2.6	42	2.1	16	1.8	10	0.6	61.9
経常利益	-157	△ 14.4	262	13.0	119	13.0	406	24.9	338.8
特別利益	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.0
特別損失	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.0
税引前当期純利益	-157	△ 14.4	262	13.0	119	13.0	406	24.9	338.8
当期純利益	-158	△ 14.5	321	15.8	162	17.7	345	21.1	212.5

# 重点取組分野ごとの主な取組と今後の見通し

分野	2026/3期 活動状況	地域
道路	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高速道路会社向け技術検証会の開催（2025/4、参加者約100名）</li> <li>・国土交通省の令和7年度準推奨技術にNETIS登録3,700工法の中から選定（2025/4）</li> <li>・建設技術展示会に出展（2025/6、来場者約2万人）</li> <li>・国土交通省所管の土木研究所と連携し新技術ショーケースに参加（2025/7、視聴者約1800名）</li> <li>・高速道路での桁端部PoC（試験施工）。同様の老朽化箇所が高速道路の一つの路線だけで数百か所存在（2025/7）</li> <li>・耐候性鋼橋梁でのPoC実施（2025/9、参加者約80名）</li> </ul>	大阪、宮城、香川
鉄道	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合商社と連携し、ASEAN地域の地下鉄向けに提案（2025/5）</li> <li>・鉄道橋向け技術検証会開催（2025/10）</li> </ul>	ASEAN地域、静岡
電力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電力施設、橋梁、基地等向けにレーザー施工士、管理技士の資格講習会を臨時開催（2025/4、受講者約50名）</li> <li>・アスベスト除去へのCoolLaser適用の展開強化（2025/5）</li> <li>・電力会社の送電鉄塔、水力発電設備（水門）などPoC（2025/8）</li> <li>・電力系エンジニアリング会社と協業し、廃炉市場に向けた展開強化（2025/9）</li> </ul>	沖縄、山形
海事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・造船所・プラント向けにレーザー施工士、管理技士の資格講習会を臨時開催（2025/4、受講者約40名）</li> </ul>	香川
防衛	<ul style="list-style-type: none"> <li>・米国における世界最大級の防食技術展示会にて、軍事関連施設向け展開を図るべく代理店開拓（2025/4）</li> <li>・英国、豪州にて軍事・防衛向け展示会に防衛装備品のメンテナンス技術として防衛装備庁と連携し出展（2025/9,11）</li> </ul>	米国・英国・豪州

標準工法化に向けた実証試験、技術検証、  
性能評価  
（必要に応じて）フィードバックを踏まえた  
応用開発、改良開発、工法開発

当社の生産キャパシティ拡大を並行して進め、  
来たるスペックイン（標準工法化）に向けて分野  
ごとの必要台数を提供できる状態を示すことで、  
当該分野が大きく動き出す。

# 国際装備展示会「DSEI UK 2025」及び「INDO PACIFIC 2025」 防衛装備庁ブースでのCoolLaser 出展（2025/10/7リリース）

CoolLaserは、防衛装備品（装甲戦闘車両や艦船、大型通信設備などの鋼構造体）のメンテナンス技術として、作業者の身体的負荷や地球環境負荷を大幅に軽減できる。

現状のサビ取り業務は若手隊員などが時間をかけ手工具等を中心に行われているが、CoolLaserを用いる事で作業時間の大幅短縮、塩分除去効果によるメンテナンス頻度の低減等が期待でき、若手隊員の限られた時間を訓練活動や防衛活動などより有意義な時間に充当する事が可能。

このような日本発のテクノロジーを防衛装備庁とも連携し、海外同盟国に向けて共に展開を図る事で、我が国安全保障の強化や外貨獲得等に貢献できる。

## 両展示会における防衛装備庁ブースの様子



左：「INDO PACIFIC 2025」の出展企業集合写真  
・アジア太平洋地域の商業海事および海軍など防衛分野の展示会  
・期間：2025年11月4日～11月6日  
・場所：インターナショナル・コンベンション・センター（豪州・シドニー）



右：「DSEI UK 2025」の出展企業集合写真  
・欧州における最大規模の防衛分野の展示会  
・期間：2025年9月9日～9月12日  
・場所：エクセル展覧会センター（英国・ロンドン）

# 経済産業省より、令和7年度産業標準化事業表彰

(イノベーション・環境局長表彰) を受賞 (2025/10/20リリース)

産業標準化事業表彰は、日本産業規格 (JIS) 等の作成、普及・促進、標準化を活用した市場創出や社会課題の解決等に功績のあった個人及び組織を表彰する制度で、毎年10月に表彰が実施。

当社は「レーザー工事」の新市場創造に取り組むため、2015年に経済産業省の「新市場創造型標準化制度」の採択を経て、2019年に鋼材表面のサビをレーザーで除去した後の品質を測る「レーザー照射処理面の除せい (錆) 度測定方法 (JIS Z 2358)」の JIS 規格を制定。

本規格制定により、CoolLaser® (クーレーザー®) 工法の他社レーザークリーニング工法との処理品質の差別化が可能となり、CoolLaserのデファクトスタンダード形成に向けて大きな一歩となった。

## 令和7年度産業標準化事業表彰式の様子



令和7年度  
産業標準化事業表彰式  
経済産業省

令和7年10月21日

CoolLaser新工場は2025年11月より予定通り稼働開始。

まずは月産2台の製造体制を構築し、今後保守等のアフターサービスにも対応していく。

CoolLaserの新製造・開発拠点「HAMAMATSU BASE」



新拠点である「HAMAMATSU BASE」は2025年11月より予定通り稼働開始。現・研究所では月産1台程であったが、まずは月産2台の製造体制を構築。部材サプライヤーとも生産計画を共有しながらキャパ拡大を促し、中期経営計画で予定する納品台数に向け生産キャパシティ（最大月10台程<sup>注</sup>）の拡大を図っていく。

注：製造人員の増加等も行った上で、当該拠点で最大限見込める生産数量。

## CoolLaser事業中期経営計画の足元の見通し

CoolLaser事業の中期経営計画を当社HP上で2024/12/9公表済。KPIとして「CoolLaser納品台数」を選定し、2028/3期まで各期の下限と上限の台数を公表。

足元、部材サプライヤー側での生産キャパシティ等も勘案すると、2027年3月期の月間生産台数は月2台程度が生産キャパシティとなる見通しである。

出所：トヨタHP（NEWS） 2024/12/9 「2026年3月期～2028年3月期中期経営計画」  
[https://www.toyokoh.com/wp/wp-content/uploads/2024/12/press\\_release\\_20241209.pdf](https://www.toyokoh.com/wp/wp-content/uploads/2024/12/press_release_20241209.pdf)

### 5. 年間目標納品台数

上記施策を踏まえた、CoolLaserの今後の年間目標納品台数は以下の通りです<sup>1)</sup>

	目標	目標	目標	目標
単位：台	2025/3期	2026/3期	2027/3期	2028/3期
納品台数	3～4	9～15	16～29	35～65

↓  
4台  
(確定済)

↓  
12台  
(業績予想)

↓  
16～24台  
(生産見通し)

# 両事業とも2028/3期に向け 様々な取り組みを行っている

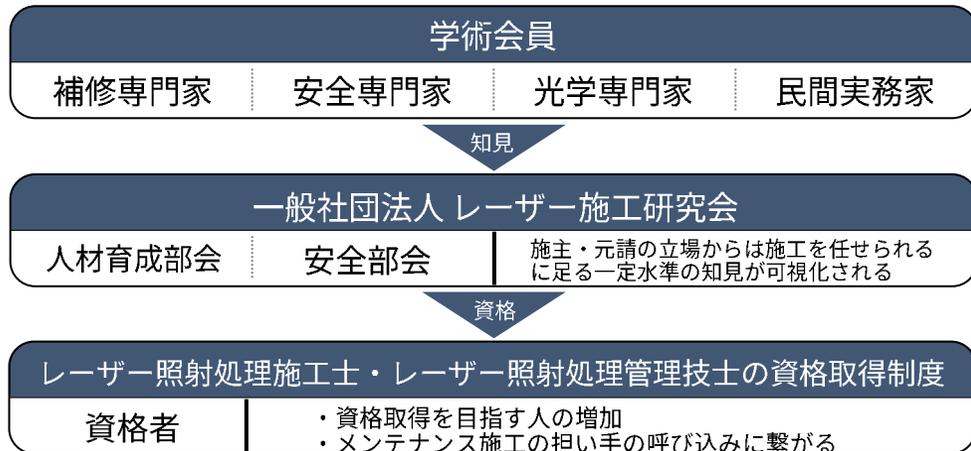
		
2028/3期までの見通しや主な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2026/3期上半期は予定通り進捗。下半期は10月に雨天率が高かった影響など見極める必要があり、業績予想修正は2026/3期2Q決算の段階で行わない。</li> <li>・SOSEI×ソーラーの協業を、太陽光事業者複数社と進行中。2026/3期内にパイロット案件に着手し、2027/3期以降の「これまでソーラーパネルが設置できなかったスレート屋根にも設置が出来る、SOSEI×ソーラー」の本格導入に繋げて行く。</li> <li>・これまでWebマーケティングは一切行わず、口コミ・リピート顧客が中心であったが、SEO対策などWebマーケティングを行い、新規顧客の開拓を強化（2026/4スタート予定）。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Coolaser新工場は2025年11月より予定通り稼働開始。まずは月産2台の生産体制を構築し徐々に生産台数を増加させる。</li> <li>・一部部材について、部材サプライヤー側の供給可能個数がボトルネックとなっているため、複数チャネルからの調達やこれに伴う原価低減を図り、追加開発を実施中。</li> <li>・IPOの資金使途で掲げていた、新型レーザーヘッドの開発は現場検証段階に入っている。2027/3期には市場投入可能となる見込み。橋梁市場における狭隘箇所の施工に対し訴求力大幅UP。</li> <li>・海外輸出は当該国における装置使用の規格認証や、経産省の輸出許可取得等に一定の時間を要する見込み。一方、海外の方がCoolaserが持つ地球環境及びワーカー作業環境の大幅改善効果を国内より高く評価頂ける傾向にあり、爆発的なポテンシャルを秘めている。</li> </ul>
与える財務効果	検討中	2028/3期に20M/台程の原価低減を目指す

## 5 : APPENDIX



# 加盟企業の7割は全国の塗装工事会社。 ユーザー候補としても期待。

レーザー施工市場創造に向け、安全ルールや取扱資格の制度など規格化を進めてきた。会員企業の7割は全国の塗装工事会社であり、CoolLaserのファーストユーザーとしても期待の声を頂いている。

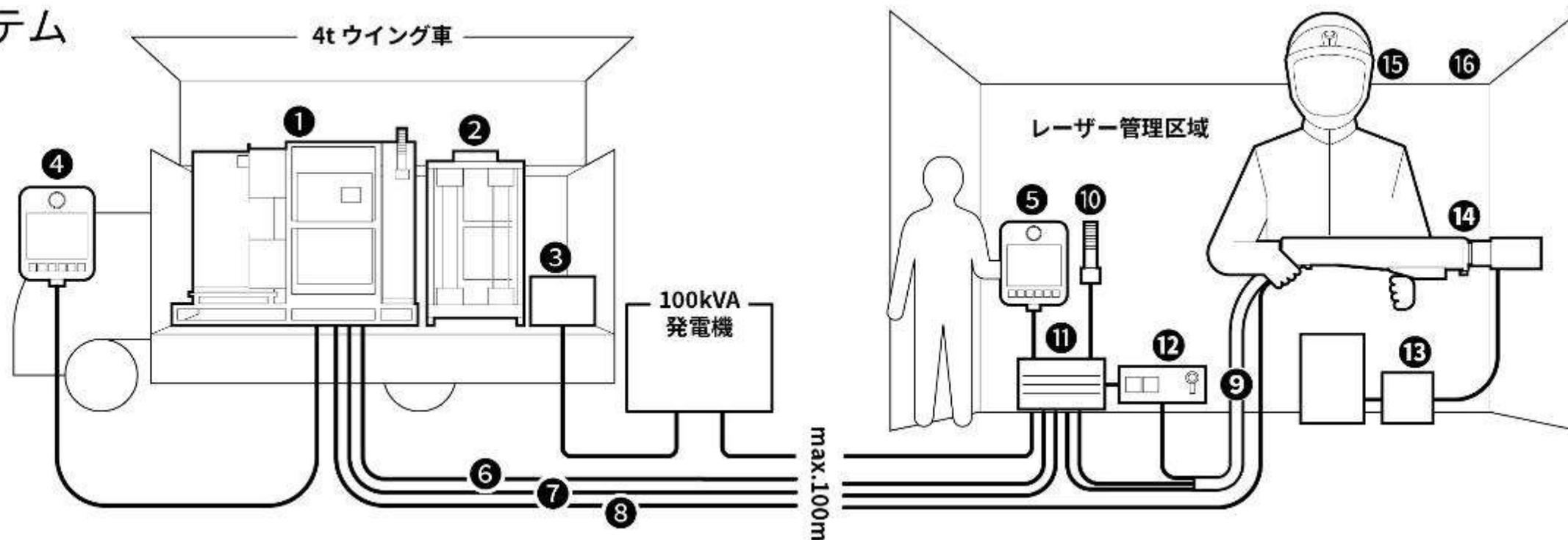


## 一般社団法人 レーザー施工研究会

名称	一般社団法人 レーザー施工研究会 Society of Laser Processing for Transportable system
会長	西川 和廣 (国立研究開発法人土木研究所 前理事長)
拠点	〒107-0051 東京都港区元赤坂1-2-7 赤坂Kタワー4F
設立	2019年4月1日
会員数	115社 ※2025/10末 賛助会員、学術会員を含む。
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>①レーザー施工に関する安全ガイドラインの策定・公表</li> <li>②人材育成</li> <li>③レーザー施工に関する課題と対策の研究</li> <li>④レーザー施工に関する普及啓発</li> </ul>
副会長	藤田 和久 (光産業創成大学院大学 光エネルギー分野 教授)
専門家理事	<p>森 猛 (法政大学 名誉教授)</p> <p>清水 尚憲 (独立行政法人労働者健康安全機構労働安全衛生総合研究所 機械システム安全研究グループ 部長)</p> <p>貝沼 重信 (九州大学大学院 工学研究院社会基盤部門 教授)</p> <p>鈴木 啓悟 (福井大学 工学系部門 建築建設工学講座 准教授)</p>
理事	<p>豊澤 一晃 (㈱トヨコー 代表取締役CEO)</p> <p>高橋 正光 (第一カッター興業㈱ 会長)</p> <p>山本 直之 (山本光学㈱ 代表取締役社長)</p> <p>上東 泰 (中日本高速技術マーケティング㈱ 技師長)</p> <p>水口 和之 (㈱横河ブリッジ 執行役員 (技術総括))</p> <p>渡辺 正明 (鈴与建設㈱ 土木営業部 部長)</p>

## CoolLaser の構成

## システム



## トラック搭載

- ①システム
- ②レーザー発振器チラー
- ③トランス

## タッチパネル

- ④タッチパネルA
- ⑤タッチパネルB

## ケーブル類

- ⑥エアホース
- ⑦通信ケーブル
- ⑧光ファイバー
- ⑨接続ケーブル

## レーザー管理区域

- ⑩シグナルタワー
- ⑪コントロールボックス
- ⑫ヘッドチラー
- ⑬集塵機

## レーザーヘッド

- ⑭レーザーヘッド
- 安全対策**
- ⑮保護具類
  - ⑯遮蔽材

## システム概要

項目	仕様
レーザー	5.4kW近赤外光連続発振 (CW)
積載寸法	5,500mm(W)×1,750mm(D)×2,100mm(H)
総重量	約3,000kg
消費電力	50kVA (100kVA以上の発電機をご使用ください)

# SOSEI と他工法との比較

スレート屋根の補修は、SOSEI工法を含め3つの工法が存在。SOSEIは他工法と比較すると全体的なバランスが良く、リピート率も高いサービスとなっている。

	SOSEI	金属カバー 鋼板屋根を上から被せる工法	スレート葺替え 屋根を新品に張り替える工法
棲み分け・使い分け	躯体強度が弱く金属カバーが選べない、断熱性が欲しい、リーズナブルな価格	美観性を重視したい時	老朽化が著しい時、工場の操業を止める事が可能な時
コスト(設計単価) <sup>注1</sup>	○ (1.5万円/㎡)	△ (2.0~万円/㎡)	○ (1.5万円/㎡)
荷重	○ (~2.5kg/㎡)	× (6~15kg/㎡)	-
耐久性	○ (15年程度)	◎ (20年程度)	◎ (20年程度)
工期	○ (~150㎡/日)	○ (~150㎡/日)	× (50㎡/日)
断熱性	◎ (-20°C程度)	△ (断熱材要、コスト増)	× (効果なし)
事前処理	◎ (事前処理不要)	△ (要 穴開けorフックボルト交換、アスベスト調査)	× (要 工場操業停止)
総合評価	◎ 弱点無く全体的に バランスが良い	△ 屋根荷重が大きく近年の原料高で施工費も高い	× 工場の操業を止めなければならない

注1：足場代は除く。

出所：表中における◎、○、△、×は、施工先・元請工事会社等へのヒアリング等を踏まえた当社独自の分析と検討に基づく

本資料は、当社への理解を深めていただくために、情報提供のみを目的として当社が作成したものであり、日本国内外を問わず一切の投資勧誘またはそれに類する行為を目的として作成されたものではありません。

本資料に含まれる業績予想等の将来に関する記述（当社の事業計画、市場規模、競合状況、業界に関する情報及び成長可能性等が含まれますが、これらに限られません。）は、本資料の発表日現在における当社の判断及び利用可能な情報等に基づくものであり、将来の業績等を保証するものではなく、様々なリスクや不確実性を内包するものです。実際の業績等は、環境の変化などにより予想と異なる可能性があることにご留意下さい。

本資料には、当社の競争環境、業界動向や一般的な社会構造の変化に関する情報等の当社以外に関する情報が含まれています。当社は、これらの情報の正確性、合理性及び適切性等について独自の検証を行っておらず、いかなる当該情報についてもこれらを保証するものではありません。

<お問合せ先> 株式会社トヨコー [pr@toyokoh.com](mailto:pr@toyokoh.com)